

発行 / 岐阜県川辺町 ■ 編集 / 川辺町役場企画室 ■ 印刷 / 中部印刷 K.K.



元気にペッタン 北小・下麻生分教室でもちつき

ペッタン、ペッタン——北小・下麻生分教室の5、6年生児童29人が12月22日、下麻生の渡辺正雄さん(82)宅庭でもちつきをしました。同校では、5年生児童が6月に田植え、10月に稲刈りを行い、今回のもちつきが作業の「総決算」。渡辺さんからきねやうすを借りて、児童らが代わりばんこにもちをつきました。もちつきは初めてという児童らは、重いきねを振り上げて悪戦苦闘、先生やおかあさんの協力で、やっとの思いでもちをつき上げました。ついたものは、きなこやあんこをつけて同校全児童に配られました。

おもな内容

- 新年度への展望を町長に聞く……………2~3ページ
- ことしこそ無事故で……………4ページ
- 第4回定例会……………5ページ
- 弁論大会で福田文子さんに最優秀賞……………6ページ
- 第4回文化祭開く……………7ページ
- 「入部してよかったです」卓球同好会会員の声……………8ページ
- 思い出7 7……………9ページ
- 街の話題……………10~11ページ

人口の動き

総 人 口	10,459人(-12)
男	5,161人(-4)
女	5,298人(-8)
世帯 数	2,499戸(+7)
転 入	19人(-11)
転 出	28人(-19)

=11月末住民登録人口より=
(カッコ内は前月末比)

街長にきく

——町長就任以来、半年余りを振り返って感じたことは、町長　町民の町政への関心の高さに驚くとともに、町政執行に対して温かく見守っていただいたことに感謝する。ご承知のように私は、一職員から町長という最も責任ある地位についたわけだが、当時の町政執行に対する認識に加え、一段と責任の重大さを痛感することができた貴重な期間だった。

——五十三年度は、町長として初の予算編成に取り組むわけだが、それがあたっての抱負、方針などを聞たい。

責任の重大さ
を一段と痛感

町長 五十三年度国家予算の編成の在り方が、町予算にも大きく反映していく。

来年度町予算の目玉はなんといつても教育施設の充実、いわゆる統合小学校の建設だ。それを成し遂げることが柱となる。

かなり苦しい
財源見通し
——事業を進めるにあたっての
財源見通しは。
町長これら事業を進めるためには、ぼう大な財源が必要となる。その財源の見通しとしては、地方税の伸び率は望むべくもない。

町長これらの事業を進めるためには、ぼう大な財源が必要となる。その財源の見通しとしては、地方税の伸び率は望むべくもないと考える。一般税については、法人税以外は横ばい状態だ。法人税は不況の影響をかなり受けてしまつた。五十二年度の決算税収見込み額約二億六千万円よりやや落ち込むようだ。

生活道路の整備、既存の道路の改良というような土木関係事業、並びに今進めている山櫻公園の整備についても、新年度はある程度の国庫補助を期待してこれにまい進しなければならない。

ほ場整備などの農業関係、また商工業の振興策など産業関係のテ

統合小建設を柱に

長谷川町政がスタートして半年余り。山積する諸問題に全力で取り組んできました。昭和五十三年の幕開けにあたり、五十三年度予算の編成方針、上水道事業、統合小学校建設などに対する考え方を、第四回定例会（五十二年十二月五日開会）の一般質問も交えて町長にインタビューしてみました。

コ入れも当然やつていかなければ
ならない。このほか雇用の確保など、
多方面にわたつてなんらかの
かたちで予算の中に生かしていか
なければならない。

福祉についても、その減退は許
されない、という確固たる考え方
で進める。上水道についてもしか
りだ。

新年度は統合 小造成工事を

小造成工事を 統合小学校建設が新年度予 算の柱となることだが、用 地買収の状況、新年度の計画はど うなっているのか。

町長 関係地主の皆さんとの全面的な協力を得て、昨年末までに代替用地も含めた用地買収を完了しました。

上米田小屋内

——統合小建設と併せて、上米田小学校屋内体育館建設が計画に上がっているが……。

町長 屋内体育館建設は、上米田小全体計画と関連しており、その中で考えなければならない。統合小建設計画の出た当初の時点では、統合小建設とからみ合わせて上米田小の改築についても考える

新年度への展望は

昭和53年1月10日発行



新年度は統合小学校建設を柱に、と語る町長＝役場応接室で

ということになっていたので、当然考えなければならない。

――屋体建設に伴い、南舎の撤去が問題になるが……。

町長 南舎は老朽校舎ということで、改築の補助対象になつていい。撤去については、校舎の改築とからみ合わせて、中舎が補助対象となるまで何とか持ちこたえていきたいと考えている。

――中舎が補助対象になるまで南舎は撤去しないということだが、中舎が補助対象になるのはいつごろの見通しか。

町長 県との折衝で、一年ぐら

い経過すれば補助対象になるとい

う見通しを持った。

分校跡地には

町独自の施設

――現北小・下麻生分教室と上川辺分校の跡地利用計画を聞いたい。

町長 下麻生分教室の跡地については、県関連施設として地域に合った施設を導入するのも一つの方法だ。そのため関係方面へ働きかけているが、その経過として職業訓練校が考えられる。養護学校も希望が持てる。

雇用不安定の時代に、職業訓練

校をつくって技能教育を行い、社会にすぐ役立つような人材を育成することには大きなメリットがある。しかし、そのような一方的な考えを押し付けることには地域の抵抗があるだろう。その点については、地域と十分話し合つて進めいかなければならない。

地域としては、社会体育、社会教育の場として活用してほしい、という要望が強いようだ。それらの要望も考え合わせてやっていかなければならぬ。

上川辺分校の跡地は、町独自の

施設という方向で考える。

――具体的にはどのような施設か。
町長 地域のセンター、社会教育、社会体育の場を、と考えている。

――第一保育園では、三年保育児が定員をすでにオーバーしているが、その対処策は……。

町長 家庭で保育することでのきない児童だけを三年保育児として収容し、他の児童については二年保育をお願いしたい。

第3保育園も計画

園児の通園 区域が問題

――園児数の増加に伴い、第三保育園というようなものが必要になつてくるが……。

町長 前町長時代から、下川辺

か西柄井地区に新しい保育園を設けて、保育の過剰緩和を図るという考え方があり、すでに町の計画の中にも入っている。この場合、いわゆる第三保育園への通園区域が問題になる。第一保育園の園児をただ単に分割するというような問題ではない。新保育園については

地域の考え方と併せて、そういう問題を配慮していかざるを得ない。

上水道全面通水は7月ごろ

――上水道事業はいよいよ大詰めに入つたが、全地域通水が可能になるのはいつごろか。

町長 七月ごろまでは全地域に通水できるよう努力する。下吉田と上川辺の国道沿いの一部に工事の遅れが出ているが、これについても今春には完成させたい。

ことじここそ無事故で

昨年は2人が死亡 川辺町

本人はもちろん、その家族の人生も一瞬のうちに狂わせてしまう交通事故。警察では「事故を呼ぶ酒が疲労がスピードが」（運転者向け）、「横断は見るくせ待つくせ止まるくせ」（一般向け）、「あぶないよわきみむとうかふたりのり」（子供向け）を昭和五十三年の交通安全全年間スローガンに掲げ、事故防止に全力を上げて取り組んでいます。皆さんも、交通事故の恐ろしさを認識し、こそ無事故で明るい一年を送ってください。

昨年は28件の事故

す。

危ない国道横断

昨年は、十二月十五日現在で県下で五千六百二十四件、加茂署管内で二百二十八件の交通事故が発生しています。また、川辺町では二十八件の事故が発生、二人が死亡、三十八人が負傷しています。これは、県下の他の町と比べても上位にランクされる高い発生件数です。

「川辺は国道が走つとるで、よその者がきて事故を起こす。それで事故率も高いんや」という声を時々聞きます。確かに、全体の三割近くは他県、他町村の人ですが、七割近くは町内の人に関係した事故です。特に死亡など重大事故の被害者は、歩いたり自転車に乗った地元の人たちであることを再認識していただきたいと思いま

一人一人が注意を
交通事故を防ぐには、警察、交



このような悲劇は二度と繰り返したくないもの!!七宗町中麻生地内で

交通安全協会の力だけではなんともなりません。運転する人、歩く人など私たちみんなが「交通ルールを守ろう」という気持ちになることが、最上の事故防止策です。皆さんそれぞれ事故防止の方法

△スピードは控えめに落とし、国道や県道でも制限速度内で走ることが事故を起こさないひけつです。
△シートベルトを忘れずにめんどうだ、などといわないで必ずシートベルトを締めてください。自分の命にかかることがあります。いつ事故にあうかも知れません。ベルトを締めなければ発進しないというくせをつけてましょう。

△交差点では徐行を行を

見通しの悪いところはもちろん他の交差点でも、スピードダウン、安全確認を実行しましょう。

△飲酒運転はしない

飲酒運転をすると、逮捕、免許取り消しの処分がされます。それでも増して、一つしかない大切な命を落とすことになります。

○歩行者、自転車乗りはルールを守る
事故は歩く人、自転車に乗る人のルール無視からも多く起きます。急な飛び出し、車の直前・直後の横断、自転車の急な右折は事故のもとです。

△夜は光るものを見守り、自動車を運転していると、人や自転車が大変見にくいたり、懐中電灯を持ったりするほか、自転車は必ずライトをつけ、反射ステッカーをはって自分の身を守ってください。反射機やタスキは、警察や役場であつせんします。

△夜は光るものを見

幼児やお年寄りについては家族全員、特におかあさん方が注意してください、幼児の一人歩き、お年寄りの夜間外出など、危険な行為のないよう見守ってください。

△ドライバーも注意を

運転する人も、年寄りや子供を見たら徐行し、警音器を鳴らしてください。

以上、最近の事故例から教訓を得た事故防止策を上げてみました。が、大切なことは「自分が実行すること」です。

私たち全員が協力して、無事故違反の記録を更新していくきたいものです。

このほど岐阜市・富田学園で行われた第十八回知事旗・市長杯争奪県下中等学校弁論大会で、福田文子さん（中部中三年）（同二年）（下川辺）が優秀賞を獲得しました。また、団体の部で中部中弁論クラブ（加藤光二部長・十二人）の代表五人が総合優勝しました。ここに最優秀賞を獲得した福田文子さんの作品を掲載します。

私達（たち）の町の仁成堂とい
う現像所に、日豪交換学生のミ
ス・ケイがいらっしゃったのは昨
年の三月でした。

ものをたくさん食べ、体をきた
え、将来牧場の主婦となるた
め、また立派な母親となるた
めたくましい体をつくるよう努

活して珍しい行事などばかり
でした。
さて20分程度で、スライドによる
説明は終わりました。暗幕をあ
け、部屋を明るくし、おしゃべり
をはじめようとした、そのときで
す。
彼女は、「全員起立してほし
い」と言われるのです。私達はぞ
ろぞろ立ち上りました。
すると彼女は、大きな声で、オ
ーストラリアの国歌を歌いはじめ
たのです。
とても真剣な顔で一心に歌つ

少しオーバーかも知れません
が、「祖国」ということ、そして
祖國愛とはどういうことなのか
を考えるきっかけを与えていた
だいたと私は考えたのです。
今私は受験勉強のかたわら
先生にお借りした森有正氏、犬
養みち子さんなど長い外国生活
つたことです。国歌を歌つていら
っしゃるときの穀（き）然とした
態度のミス・ケイから私は、私達
が遠い所におき忘れてしまつてい
るとも大切なものを教えられ
た気がしたのです。

青少年の健全育成に協力を
青少年の健全育成は、今や国民的
的な課題となっています。そのため
関係者は日ごろから、俗悪週刊
誌の販売の取りやめ、自販機コ
ーナーの廃止などを関係業者に呼び
かけてきました。
この呼びかけに対し、店内に成
人コーナーを設置したり、俗悪な
映画看板を撤去する業者が増え、
予想以上の成果を収めることができ
ました。この趣旨をご理解いた
だき、青少年の健全育成にご協力
をお願いします。

▽児童・生徒の目にふれやすい
学校付近、通学路などに映画の看
板、ポスター、広告などを掲示、
陳列しない
▽その内容や表現は露骨な絵
画、写真などを避け、なるべく文
書などにする
▽扇情的な週刊誌、漫画などは
児童・生徒に販売しない
人コーナーなどを設けて扱つて
ほしい

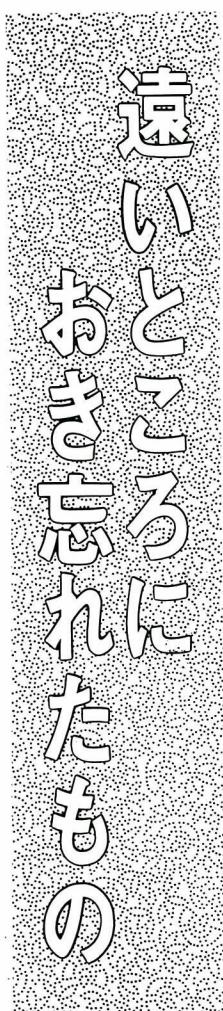
多少の物珍しさも手伝って私達
の学校の読書クラブでは、彼女を
おまねぎし、オーストラリアの話
などをお聞きしようと計画をたて
ました。彼女は快く私達の願いを
聞き入れてください、三月二十日
仁成堂の車にのってさっそくとい
らっしゃいました。

まずは、彼女との初対面で圧倒さ
れてしましましたことは、彼女の
体格です。ウエストは70㌢以上は
あるでしょう。足も太く、実に
堂々としていらっしゃるのです。
若いうちに、うんと栄養のある

力している。
と実にはっきり英語の長瀬
先生の通訳を通しておっしゃった
のです。
スタイルを気にして給食を残
しているクラスメイトの顔を思い
浮かべ考えさせられてしまいまし
た。
次は、いよいよ待ち望んでいた
スライドを見せていただくこ
とになりました。図書室の白いス
クリーンに写し出された場面は、
本や写真では見ることのできない
オーストラリアの人々の日常生活

を続けられたかたのエッセイを読
んでいます。
そして、私なりにその答えを
出そうと、今、一生懸命考え方
力しているのです。
私がもし、今度ミス・ケイの
ような立場に立った時、異国の少
女を全員起立させ、胸をはつて
誇らしげに君が代が歌えるよう
になるには、一体何をどうし
たらよいのでしょうか。
これは、今後の私の大切な課題
として、考え追いかけています。

▽児童・生徒が自販機コーナー
へ立ち入らないよう指導する



福田文子（中部中三年）＝中川辺＝



青少年の健全育成に協力を

昭和53年1月10日発行

絵画や生花展示

第4回 文化祭 鑑賞者で大にぎわい

十二月九—十一日の三日間、商工會館、第二艇庫會議室、中央公民館の三会場で第四回文化祭が開かれました。

文化祭は、回を重ねるにしたがってますます盛んになり、今回は二百五十点

を超える絵画、写真、手芸などの作品が出品されました。

商工會館では一般作品のほか、高齢者学級の皆さん、生花が展示され、町内外から集まつた鑑賞者でぎわいました。同會議室では、高齢者学級の皆さんによる茶の接待もありました。



文化祭=中央公民館で

館では十日にフォークコンサート、十一日に婦人会員の民踊、同好者による詩吟などの演芸が行われました。

（馬場美代子会長）会員がチャリティーバザーも開催

矢坂山城調査記

文化財保護委員／紅谷 茂

(一)

(次回執筆者矢島弓男氏)

参加された。

机上プランによる現地踏査の

順路から、実測

地点の設定、平

面図と復元図の

作成方法など、

綿密な打ち合わせが毎夜遅くまで行われていっ

た。さらに同好者

者の所昭、奥田

式三、村瀬康彦

の各氏の参加も

あって、十一月

十三日を皮切り

に調査のメスが

入れられた。そ

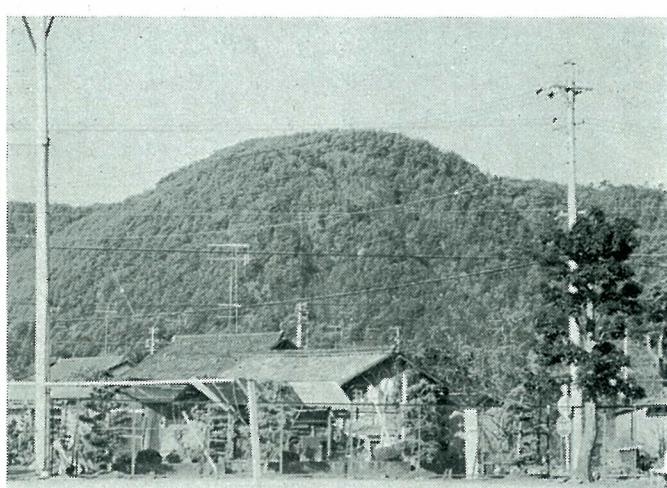
して同月二十日

には本格的な測

量が開始され、

現在もその実測

が続けられています。



中部中グラウンドから見た矢坂山全景

ティバザーを開催。会場にどっと押し寄せた人たちの間で日用品、衣料品などが飛びように売れ、たちまち売り切れ。売り上げ金三万七千七円は、町の歳末助け合い運動に寄付されました。

入部してよかつた

卓球同好会会員の声

一昨年、初心者卓球教室を開催したのがきっかけで、有志が卓球同好会を結成、毎週水、土曜日の二回ずつ熱心に練習を続けています。

昨年十一月四日、白川町・白川中体育館で行われた第三回郡卓球大会にも同好会から三チームが参加、おしくも一回戦で敗れはしましたが、皆さんよく健闘しました。同大会に出場した会員の皆さんに、昨年一年間を振り返っての感想を寄せていただきました。



美容と健康のために

小林勇雄さん(写真)＝中川辺

卓球同好会が

発足してまる一年、郡大会は二回の出場です。

試合技術は今少しというところですが、ラケットを持つたその目は他の選手に負けません。シンケンそのもので

自分自身の健康保持を目的とする同好会は実際に楽しい集まりです。トシ・ウデにかかわらず、なりふりかまわず美容と健康のためそして親ぼくを深め、心の広い人生を送るためにも練習を続けてい



皆さんも入会を

加藤満子さん(写真)＝中川辺

卓球教室へ入

ったのがきっかけで、同じ仲間と同好会をつくってちょうど一

年になります。

へたながら、その間に町民大会や郡大会にも参加させていただきました。勝った喜びにひたるにはおよびませんが、日ごろの練習どおりに球がきました時はなんともいえません。

同好会は良き指導者や先輩に恵まれ、皆楽しく練習してみえます。生まれて初めてラケットをぎった人でも、今では試合を楽しむまでに上達されています。

皆さんも同好会へ入って体を動

ます。

自分の体の調子を自分で診る。

体調の良い時は球もスカッときます。少々の風邪ぐらいならひと汗かけ治ります。

“ホントかしら?”。真実です。

今春は、早々にまた卓球教室を開いていただきます。終了後、皆さん一人でも多くの入会をお待ちしています。



なごやかな数時間

今井敏子さん(写真)＝上川辺

卓球部結成早

いものの半年。主

婦業十二年、家

事の仕事も時代

の移り変わりの

金沢悦子さん(写真)＝上川辺

(昨年)三月に

激しさの中にも十二年のキャリア

でなんとか過ごし、時折「ふと」

まるで「コンペア」のことく過ごす毎日にため息を覚えました。

「何か私にも」「楽しみ。なおか

つ健康に、そこでスポーツ卓球に

足を入れたのです。若かりしころ

の健康な汗をもう一度流してみた

い。

六月に結成、着々ことは運び

会員十八名、皆若さに挑戦、ファ

イト満々です。スポーツと対話が

いりまじり、なんとなごやかな数

時間でしょう。数ヶ月後卓球大会

に出場するため、毎週の練習に励

み汗を流しました。

九月四日試合(町民大会)。新

たなユニホームに身をつつみ、背

にはネームをつけ、胸の高まりが

急速にやってくるのを忘れませ

ん。前向きな心、すばらしいで

かしてみませんか。きっと入ってよかつたと思われることを信じます。

の基本ともいえましょう。翌日、反省会を兼ねて優勝の「かんぱい」をもうけました。このよき体験は、人生の過程として大きな利益ともいえましょう。

今後も、スポーツ卓球地域民の親ぼくを深め、健康保持を目的としますます盛んに続けて欲しいものです。

若さと健康を保ち、また皆様との親ぼくを深めるために、これからも続けていきたいと思っております。

これからも続けたい

竹内恵美子さん(写真)＝西柳井

卓球教室開催

の報に始めてラ

ケットを握つた私。今までス

ポーツらしきも

な行事があり、また人々が熱心に参加されるには本当に驚きました。

越してきて、こちらにはいろん

な行事があり、

そんな中で、卓球部に入らない

かと誘われ、学生時代に経験があ

ったため、喜んで入部させていた

だきました。ほとんど主婦という

顔ぶれにもかかわらず、家事の合

間をさして、皆熱心に練習に励ん

でいる毎日です。

川辺町民卓球大会に引き続き、

第3回郡卓球大会成績

(町内分)＝敬称略

▽一般男子①武市金銅②所正仁
▽同女子①佐伯典子
▽家庭婦人③今井敏子
▽三十歳以上①小田里美③杉山

つぱりよったものです。全身運動

光春

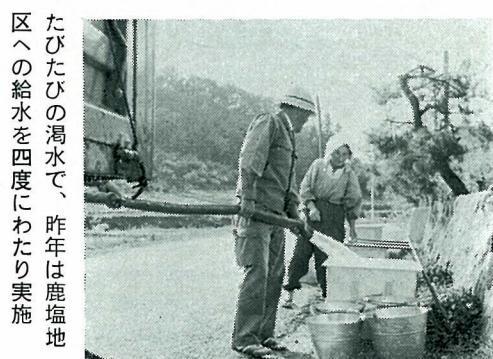
昭和53年1月10日発行



始まつた山楠公園の工事。今
年度に、あずまやの建築と遊
歩道の一部整備に着手



悲喜こもごもの思い出を残して昭和五
十二年が暮れ、新しい年が明けました。
昨年は、統合小学校の校名決定、町長・
町議補選、山楠公園工事の開始など、い
ろいろな話題が相次ぎました。皆さん
胸にもさまざま思い出が刻み込まれて
いることでしょう。ここにおもな記録を
ひろってみました。



たびたびの渇水で、昨年は鹿塩地
区への給水を四度にわたり実施

第一回定例会で、統合小の校名が「川辺北小」と
決定。三月の閉鎖に伴い、上川辺分校では教材な
どの引っ越しを行った

おもなできこと

▽二月・県知事選を執行。
新知事に上松陽助
氏

第一回町定例会
で統合小の校名は
「川辺北小」と決
定

▽三月・上米田保育園が社
会福祉法人として
厚生省から認可さ
れる

▽四月・水道料金を一ト当
たり百五十円に値
上げ

▽五月・町長・町議補選を
執行。町長に長谷
川仙一氏、町議に
吉田岩雄氏当選

▽六月・所房枝さんが上米
田小にピアノを寄
付

▽七月・広報かわべが百号
に

▽九月・第三回定例会で、
参院選を執行

▽十一月・山楠公園工事始
まる
▽十一月・加茂駅伝大会で川
辺走友Aが二連勝
鹿塩地区に四度目
の給水

張り切る「走ろう会」

加茂駅伝にも出場

十二月四日、八百津町役場—美濃加茂市・西中学校間で行われた第十三回加茂駅伝大会に「川辺走ろう会」からA、B二チームが出来、健闘しました。六区二十・四きに十八チームが参加、Aチーム

は一時間十五分四秒で十二位、Bチームは一時間四十三分三十四秒で最下位でしたが、そのがんばりにスポーツ仲間から盛んな拍手が送られていました。

同会の結成は昭和四十九年。各

A、B二チームが一時間四分六秒の好タイムで二連勝、四人が区間賞を獲得しました。区間賞は次の皆さんです。

川辺走友Aが2連勝

(岩村町)
山口幸三(一区) 渡辺政彦(四
区) 辻武史(五区) 多田芳徳(六
区)



二連勝を飾った川辺走友A

区間賞を獲得した皆さん



多田芳徳さん



计 武中さん



渡辺政彦さん



山口幸二さん

民生委員を嘱託

先ごろ宮城县で行われた第十三回献血全国大会で、松野善武さん(三六)・石神(二九)・中川辺(二九)が献血功労者として日本赤十字社から表彰されました。

野さんと浅
さんを表彰

野さんと浅
さんを表彰

“健康マラソン”と名付けて、典道などで独自で練習を重ね、昨年九月に日光中禅寺湖で行われた「第六回タートルマラソン大会」や十一月に行われた「第三回伊豆山マラソン大会」にも出場しました。

ランニングを始め、現在も早朝マラソンを続けています。おかげで肩こりもすっかり解消、かぜ一つひかない丈夫なからだになったということです。

他のメンバーも「加茂駅伝ばかりではなく、今度は県外の大会にも出場しよう」と張り切っています。

坪内金市(上川辺上) 平岡君
夫(同下) 白村辰四郎(石神)
牧野よ志へ(中川辺一) 渡辺保
(同二) 横山績(同三) 栗山米
子(同四) 羽賀金五郎(西柳井)
日下部秋男(下川辺) 横田 武

飯田(篠田)久見(比久見下) 高
井久五郎(同上) 赤坂孝平(下)
吉田(伊藤)克文(下麻生下) 丹
羽一夫(同上)

募金運動に
多額の善意

ゴールインする川辺走ろう会のアンカー
土谷源良さん＝美濃加茂市・西中学校前で



十歳前後。会社員、公務員など職業はさまざまでも、走ることが好きな人ばかり。同大会には三度目の出場。「記録より完全に走」を目標に試合に臨み、全員見事に区間内を走破しました。

「一人暮らしの年寄りに配つてください」と十二月十九日、美濃加茂ロータリークラブ（加藤 寛明会長）から町へ毛布四十三枚の寄付がありました。

同ロータリー・クラブは、美濃加茂市と加茂郡内の会員で構成、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕などの奉仕活動を柱に地道な活動を続けています。昨年三月には、国際奉仕の一つとして、会員の佐藤豊さん（吾）＝西柄井＝の長女・尚子さん（＝）が、交換学生としてオーストラリアへ出発、現地の高校で勉強しながら日豪親善を図っています。

今回の毛布の寄付も、同ロータリー・クラブが進める社会奉仕事業の一つ。ロータリー・クラブの活動を地域の人たちに知ってもらおう、というPRを兼ねて、毎年各市町村へ寄付が続けられており、昨年は川辺町へ寄付されたものです。

当日は、加藤会長と社会奉仕委員長の佐藤さんが来庁、町長に直接毛布を手渡しました。受け取った町長もこの善意に感激、翌二十二日には、ホームページを通じて「一人暮らしのお年寄りに届けられこれで暖かい正月が送れる」とお年寄りを喜ばせました。

健康管理など話し合う

去年も六月二十日に田植え、十月二十日には稻刈りを同学年の児童が総出で行いました。
「せっかくつくったお米だからみんなで食べよう」と、おかあさんらも「おいしかった。自分たちでつくった米だけに、炊き上がった味ごはんに児童らは大喜び。おかあさんらも「おいし

上米田小学校の五年生児童二十一人が十一月二十六日、おかあさんらと一緒に同校和室で「みんなでつくったお米を食べる会」を開きました。写真。

「い、おいしい」と、児童らと一緒に収穫の喜びを分かち合いました。



$$y = x - z = 3$$

【歳末助け合い運動募金】
萱場労組＝二万円▽婦人会＝三
万七千七十円▽美濃加茂ロータ
リー・クラブ＝毛布

竹ぼうきとぞ
うきんを寄付

下麻生福寿会からこのほど、
中部中学校へ竹ぼうき五十本、
ぞうきん百枚の寄付がありまし
た。

拾得金を寄付

川辺小3年の築樋君

川辺小学校三年の築樋正人君
||西柄井||からこのほど、拾得
金五百十円の寄付があり、町で
は歳末たすけあい募金にまわし
ました。

役場へ菊の寄付

中川辺の松岡さん

中川辺の松岡志満子さん(西)
からこのほど、役場へ多数の菊
の切り花の寄付がありました。

読書会で短編小説を読む会員の皆さん=下麻生の臨川寺で



一人でも多くの人に本に親しんでもらおう——と、読書の好きな主婦らが読書グループ「あすなろ会」（伊佐治英子会長）を結成、活動を続いている。

同会結成のきっかけは、昭和三十四年に発足した町読書サークル協議会。三ヶ月に一回、県立図書館から役場へ図書交換バスがやってきて、その中から気に入った本を持ち帰って本を読む活動を続けていた。

それだけの活動にあき足らなくなつた伊佐治さんは「みんなが集まって一緒に本を読んだら」と話合い、昭和四十九年に同会を結成した。最初のうちは、町教育委員会の指導を受けていたが、五十年からは自分たちで年間計画をたてるなど、自主的に活動するようになつた。

会員が近所の人に参加を呼びかけるなどして、会員数も結成時より四人多い二十二人。三十歳一七

十歳までのほとんどが主婦で、粗い人は二人だけ。肥田千里さん（右三）||比久見||のように、県読書サークル協議会から表彰されたという熱心な人もいる。

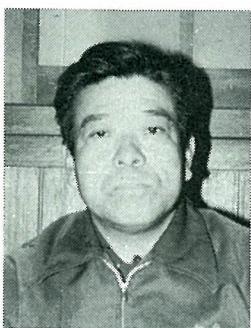
同会の中心的行事は、年三回の読書会。各地区に散らばっている会員が出席しやすいように、と会場は各地区持ち回りで行っている。「年代がさまざまため、いろいろな話が聞ける」「世間話もできる」などの楽しみもあるため、出席率は上々だ。

読書会では、時間の制約もあるため、短編小説、エッセイなど時間で読める作品を選ぶ。二十分ほどかけて会員が輪読し、そのあと約一時間半読後の感想などを話し合う。

同会ではまた、読書感想文などを掲載した文集『あすなろ』を年一回発行している。そのほか、新年の百人一首カルタ会、文学散步などの楽しい行事もある。将来は他町村の読書グループとの交歓会も予定しているという。

同会では「あなたもグループに入りませんか」と、会員を募集している。希望者は、伊佐治英子さん（電話2580）||中川辺||まで連絡を。

読
書
好
き
の
集
ま
り
紹
介
《12》



日本道路協会
に表彰された

横田利一さん(左)・鹿塙

「交通事故にあんな」が横田さんの信条。十二年間も努めている子供会の会合の席などでも、子供たちにことあるごとにそう呼びかけてきた。

このほど日本道路協会から表彰されたのも、横田さんの事故防止への努力が高く評価されたもの。市街地と鹿塙地区を結ぶ唯一の道路、県道美濃一川辺線の積雪時に融雪剤をまき続けて約八年にもなったのは、八年ほど前、白川町佐見地内で、凍った道路で大

横田さんがこの行為を始めるようになつたのは、八年ほど前、白民にも喜ばれている。



事故防止に長年努力

「交通事故にあんな」が横田さんの信条。十二年間も努めている子供会の会合の席などでも、子供たちにことあるごとにそう呼びかけてきた。

このほど日本道路協会から表彰されたのも、横田さんの事故防止への努力が高く評価されたもの。市街地と鹿塙地区を結ぶ唯一の道路、県道美濃一川辺線の積雪時に融雪剤をまき続けて約八年にもなったのは、八年ほど前、白川町佐見地内で、凍った道路で大

わたしたちの作品

それぞれの名称もてる大輪の菊に水遣りひと日はじまる

岩井三千代

不況の風は背なし冷たく

井戸 正二

○水道を谷水利用の我が家に

久々恵みの秋雨降るる

前島 政平

○ボート漕ぐ若き群像初陽浴び

さざ波わけて突き進み行く

渡辺 節夫

○更けし夜年賀に走る筆の音は

この年無事に過ぎしと奏てる

村瀬雅一

○後追いて泣く孫の声背に聞きて

帰るアパート茜に染むる

前島 一代

○敷きつめし錦の如き落葉に

嫁すこやかに子等守るらし

丹羽 房代

○みちのくの冬は厳しと便りあり

帰宅忘れて子等たわむれり

井戸 孝子

○吐く言葉持たざるいかり静めんと

髪すぐ指の小さく振う

小島みき子

○在りし日に父植えおきし山茶花の

紅しみじみと目にしむ朝

垣下 博子

○雪が降った日は、早朝四時半に

起き、五時からスコップ、一輪

車、融雪剤などを持つて作業に出

かけ、七時ごろまで約千㍍にわた

つて融雪剤をまく。雪がたくさん

積もったときは、雪をほうきでは

いてからまくなど、その苦労にも

みなみならぬものがある。

「おかげで、作業を始めるよう

になつてからは、この道路では一

件のスリップ事故もない」と、住

民にも喜ばれている。

花の垣根に小さく見ゆる
草狩りの山にこだまし幼な日に
遊びし如く友と呼び交う

岩井三千代

花の垣根に小さく見ゆる
草狩りの山にこだまし幼な日に
遊びし如く友と呼び交う

赤坂富美子

流刑等のうめきこもらすこの小屋も
時代うつりて観光の群

八十路過ぐ父と最後の旅路かも
雨の金沢しみじみと觀る

横山 寿子

若き力ぶつけ合いでグランドを
せましと馳ける赤組白組

白樺の木の間にみゆる湖の青
空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

松岡 久美

空と競いて木曽駒の秋

明日よりは心して翔べ山鳥よ
銃持つ人等入り来る山に

遠藤 豊

豊作を報ずることなしまスコミの
瑞穂の国は過去となりたる

関税務署では、次のとおり確定申告記載説明会を開催します。

◆日時 二月十日、午後一時三十分

◆場所 商工会館二階会議室

□ 野球同好会登録 □

□ を受け付けます □

教育委員会事務局では、昭和五十三年度の野球同好会チーム登録を二月末日まで受け付けています。同会では単年度登録制をとっていますので、新しく結成するチ

おしらせ

- 確定申告記載

□ 説明会を開催

□ 関税務署では、次のとおり確定申告記載説明会を開催します。

◆ 日時 一月十日、午後一時三十分

◆ 場所 商工会館一階会議室

□ 野球同好会登録

□ を受け付けます

教育委員会事務局では、昭和五十三年度の野球同好会チーム登録を二月末日まで受け付けています。同会では単年度登録制をとっていますので、新しく結成するチ

詳しいことは教育委員会事務局（電話2511）か同好会理事長・加藤勝富さん（同4588）までおたずねください。

□ 技能士通信制

□ 練受講者を募集

雇用促進事業団・岐阜総合高等職業訓練校では、次のとおり一、二級技能士訓練課程通信制訓練の受講者を募集しています。

◆ 募集訓練科 ▽ 一級技能士訓

米田城の築城年代はいつごろのことであろうか。一般的には永正二年（一五〇五）肥田兵部

米田城址



— その 29 —

南北朝時代に足利尊氏の重臣高師直が、二万の軍勢で飛驒から侵入し、山塞を築いたとの記録があり、戦国時代となると、飛驒を統一した三木氏中興の祖直頼が、米田城を攻囲したとの記述が残っている。また室町時代末期には、美濃守護職土岐政房が、後継者問題の内紛から家督を譲つて引退し、米田城に移住してきた。

山麓(ろく)に設置され、物見櫓(やぐら)が山頂にあつたと想像される。山頂に散乱する礎石のノミ跡より、建造物の大きさが推定できるが、西側には空堀の跡がある。恐らく金山城(兼山町)の森一族との攻防の際、急ぎ掘られたものであろう。中腹の加茂神社付

つた山城となっていた。
天正十年（一五八二）森の軍勢二千余騎によつて米田城は落城し、以後廢城となり、肥田支蕃一族は加治田に逃れていつた。
米田地域は早くから莊園としてその名があり、平城京遺跡から、米田木簡（もつかん）が発見されている。江戸時代、尾張徳川領としてその支配下に置かれたのも、その意義からであつた。（木下尚年）

死
亡

謹んでおくやみ申し上げます

下 麻 生	山 口	利 恵	八 之					
中 川 辺	鹿 塩	加 藤	西 杉 井					
下 川 辺	木 沢	渡 辺	田 口 <small>義</small> 建 成					
西 杉 井	大 谷	田 原	土 屋 さ と み					
鈴 木	座 間	史 良	曾 我					
達 枝	正 勝	モ ト	吉 伸					
66	39	46	67	61	65	82	84	歳

謹んでおくやみ申し上げます

死 亡

■ 新しい年、昭和五十三年が幕を開けました。皆さんのご多幸をお祈りします。

■ 新年の幕開けにあたり、五十三年度への展望などを町長にインタビューしてみました。長谷川町政誕生以来半年余り、職員一同同様で町政執行に取り組んでいます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■ 広報かわべでは、街の話題、ニュースなどを待っています。投稿も歓迎します。

おめでた

(十一月中の届け出)

上川辺	湯川久美子	八之	ご成長をお祈りします
ク	土屋さとみ	幸博	長女
西橋井	田口	建成	二甲
ク	橋本	修	義広
比久見	曾我	吉伸	竜佑
			長里
			長里
謹んでおくやみ申し上げます	下麻生	山口	利恵
鹿	塩	加藤	與一
中川辺	渡辺	木沢	克己
ク	田原	モト	
西橋井	大谷	史良	
ク	鈴木	鈴子	
下川辺	座間	正勝	
ク	達枝		
66	39	46	67
ク	ク	ク	ク
61	65	82	ク
ク	ク	ク	
84歳			